

浜岡原子力発電所周辺における断層等に関する情報の整理について (経済産業省原子力安全・保安院からの追加指示に対する報告の概要)

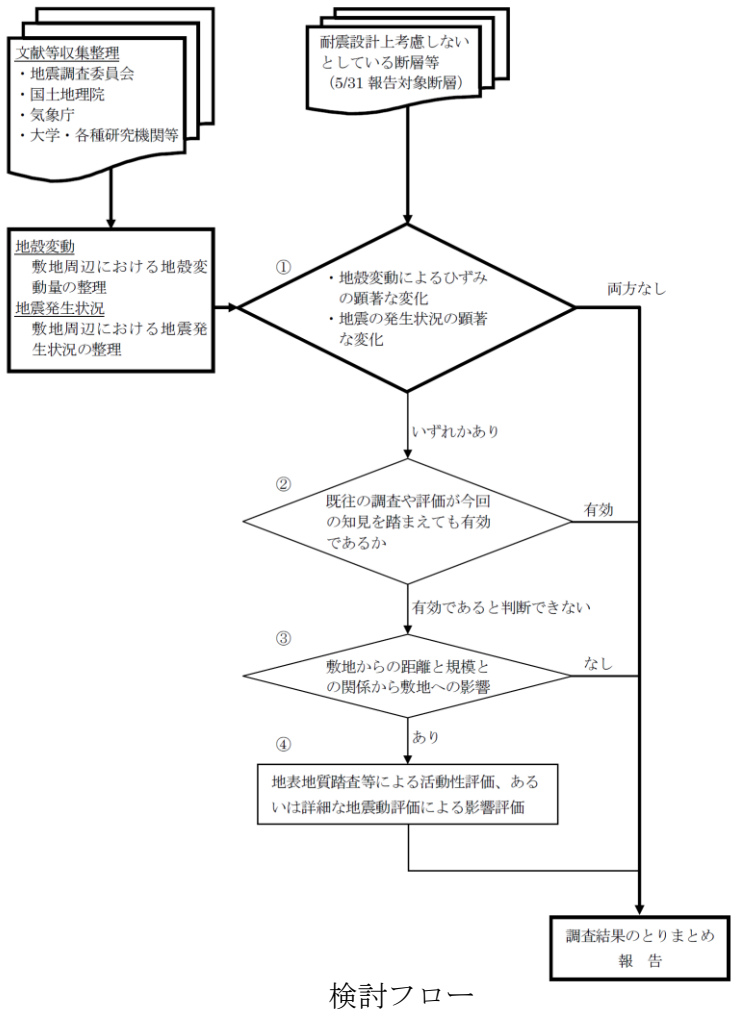
当社は、原子力安全・保安院が現在実施している新耐震指針に照らした浜岡原子力発電所の耐震安全性評価を進めるにあたり、断層等の活動の可能性についての再評価の検討に活用するため、原子力安全・保安院から出された指示に基づき、地殻変動や地震活動等に関する情報についてとりまとめ、本日、原子力安全・保安院へ報告書を提出しました。概要は以下のとおりです。

1 検討の内容

浜岡原子力発電所周辺において、2011年3月11日以降に発生した地震に伴って生じた地殻変動量および地震の発生状況の調査を実施し、耐震設計上考慮していない各々の断層等について、考慮すべき断層に該当する可能性について検討を行いました。

2 検討フロー

検討は、主に国土地理院のGPS観測結果、気象庁の震源分布、地震調査研究推進本部地震調査委員会の評価等の公開されたデータをもとに、検討フローに従って実施しました。

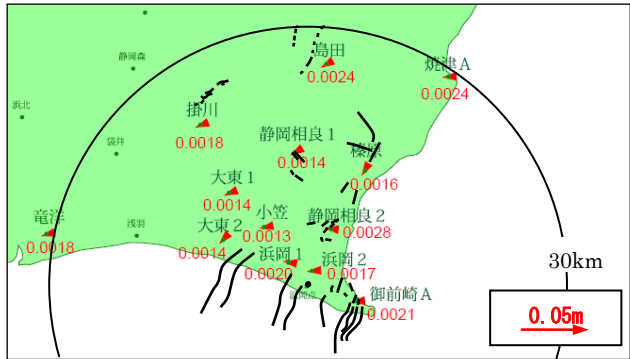


3 検討結果

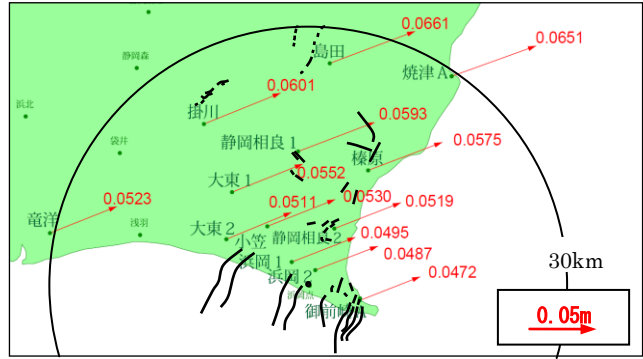
(1)地殻変動

浜岡原子力発電所周辺において、主に国土地理院のGPS観測結果、地震調査研究推進本部地震調査委員会の評価等に基づき、地殻変動に関する情報を整理しました。その結果、東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動は数cm程度と東北地方に比べてわずかであり、その後、地震前の状態に概ね戻っています。

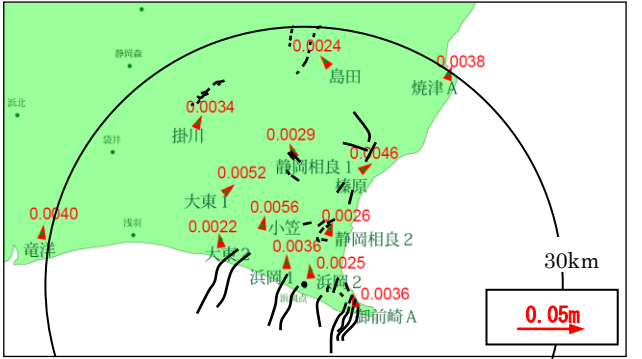
1月下旬～2月下旬の1ヶ月間



2月下旬～3月下旬の1ヶ月間



6月下旬～7月下旬の1ヶ月間



GPS観測網(GEONET)の連続観測データを用いて作成
※固定点は福江(長崎県)であり、図面範囲外
図中の黒線は、2011年5月31日に報告した耐震設計上考慮していない断層等

浜岡原子力発電所周辺の地殻変動(水平)1ヶ月

(2)地震発生状況

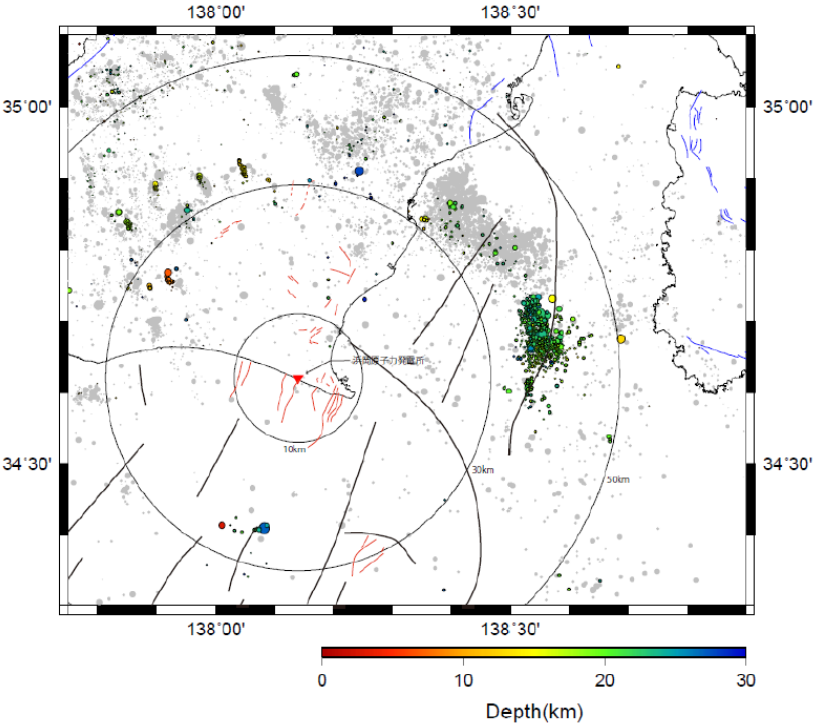
浜岡原子力発電所周辺において、気象庁の一元化震源データ、地震調査委員会の評価等に基づき、地震発生状況に関する情報を整理しました。その結果、東北地方太平洋沖地震の発生前後に浜岡原子力発電所周辺では、2011年3月15日の静岡県東部の地震、8月1日の駿河湾の地震、8月12日の遠州灘の地震が発生しており、その他は注目すべき地震活動は認められませんでした。

敷地周辺の地震活動を見ても、耐震設計上考慮していない断層等に関連するような地震活動は認められませんでした。

(3)総合評価

浜岡原子力発電所周辺において、2011年3月11日以降に発生した地震に伴う地殻変動によるひずみの顕著な変化および地震発生状況の顕著な変化は認められないことから、新たな考慮すべき断層に該当するものはなく、同年5月31日に原子力安全・保安院へ報告した耐震設計上考慮していない断層等の評価に影響を与えるものではないと判断しました。

今後も、今回の地震に関する情報収集に努め、新たな知見については今後の評価に適切に反映していきます。



○: M2 ○: M3 ○: M4 ○: M5 ○: M6 ○: M7
気象庁一元化震源データを使用(1997/10～2011/08/15)
グレー: 1997/10～2011/03/11 14:46, カラー: 2011/3/11 14:47～2011/8/15
赤線: 2011年5月31日に報告した耐震設計上考慮していない断層等
黒線: 耐震設計上考慮している活断層

東北地方太平洋沖地震以降の地震活動